

⑩實用新案出輯公開

昭56—144859

③公開 昭和56年(1981)10月31日

審查請求 有

(全 2 頁)

## ⑤回転軸の摺擦シール

三島市光ヶ丘26の4

④ 庚 順 船55—43001

出 願 人 日井國際産業株式会社

出 類 昭55(1980)3月31日

一三— 沢長町清水郷東駿河岡餅  
二

◎考 案 者 今橋満男

代理人 弁理士 押田良久

### ⑦実用新案登録請求の範囲

の外周壁部4、4'を介してインナーケース部材をアウターケース部材に接着重合することによりシール部材を狭圧固定してなることを特徴とする回転軸の保護シール。

(1) 中央部に回転軸 9 への挿着係合孔 2 を有し、且つ該挿着係合孔周辺表面の内周に沿つて渦巻状の筋状切れ目 3 を有してなる一対の可撓性シール部材 1, 1' を、該筋状切れ目側の面を対向させた状態でその外周壁部 4, 4' を両側が開放したケース 5 に固定支持させるとともに、該筋状切れ目 3 を有する係合孔周辺を相互に外方に彎曲させることにより、回転軸への挿着時に該渦巻状の筋状切れ目 3, 3' によつて形成される鋸歯部または鱗部 6, 6' がそれぞれ逆向きに回転軸表面と摺擦係合するように構成してなることを特徴とする回転軸の摺擦シール。

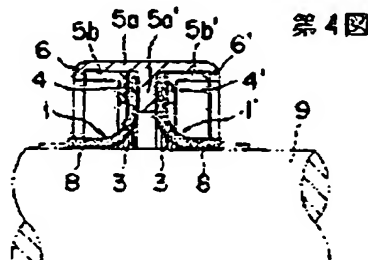
(3) 実用新案登録請求の範囲第1項の回転軸電接シールにおいて、一個のシーワ部材1の外周壁部4を固定支持した同型の一対のシール部品7、7を嵌合せに結合してなることを特徴とする回転軸の電接シール。

### 図面の簡単な説明

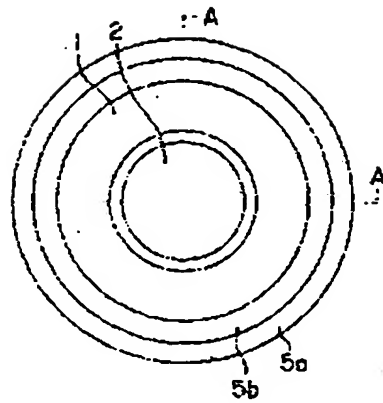
図は本発明に係る摺擦シール構造の実施例を示すもので、第1図は正面図、第2図は第1図のA-A線断面を含む側面図、第3図は他の実施態様による第2図相当図、第4図は第1図、第2図の摺擦シールを回転軸に挿着した使用状態の断面図である。

(2) 実用新案登録請求の範囲第1項の回転軸摺擦シールにおいても、一対のシール部材1、1'の外周壁部4、4'を固定支持するケース5を、両側に係止壁6、6'を有し内周壁側に突出壁5a'を有するアウターケース部材5aと、該係止壁5a'と突出壁6または6'間に嵌着する一対のインナーケース部材5b、5b'で構成し、前記アウターケース部材の突出壁5a'の両側に相対して当接した一対のシール部材

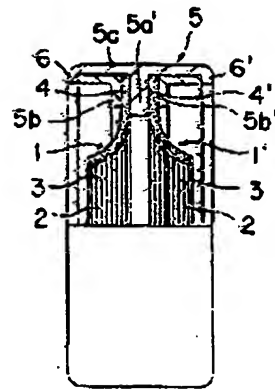
1, 1'.....シール部材、2, 2'.....回転軸への挿着係合孔、3, 3'.....渦巻状の綻状切れ目、4, 4'.....シール部材の外周壁部、5a.....アウターケース部材、5b, 5b'.....インナーケース部材、θ.....回転軸。



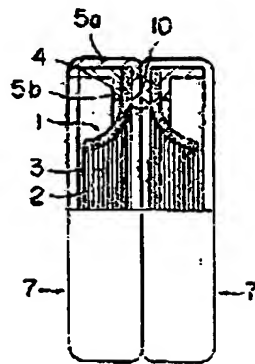
第1図



第2図



第3図



BEST AVAILABLE COPY